

横須賀ソフトボール協会

1951年創立



ソフトボールは、米軍基地内で行われていたのを見聞した基地関係者により広められ、学校体育の授業にも取り入れられ、早くから市民の間で親しまれ普及してきた。

女性の間でもチームが結成され、試合が行われるようになった。昭和21年に全日本軟式野球連盟の中にソフトボール部が併設され、昭和24年には日本ソフトボール協会として分離独立して発足、同年2月、神奈川県ソフトボール協会が発足し、横須賀市では教育部（現教育委員会）主催の第1回市内中学校ソフトボール大会（参加校10チーム）が開催された。昭和25年には、国民体育大会に正式競技となった。翌、昭和26年横須賀市でもソフトボール協会の発足（会長 岡本慶次郎）に至った。

以下、チームの活躍を記す（平成16年までは体育協会70周年記念誌に記載済み）

平成17年 ○じゃじゃママファイターズ 全日本エルダー大会出場 ○横須賀女子 第15回関東小学生選抜女子大会準優勝 第19回全日本小学生女子大会ベスト16 第22回関東小学生女子大会優勝 ○常葉中学校 第15回関東中学生選抜女子ソフトボール大会3位 第33回関東中学校女子ソフトボール大会優勝 全国中学校体育大会 第27回中学校女子ソフトボール大会ベスト8

平成18年 ○中村英夫 瑞宝単光章叙勲 ○横須賀ブルービーズ 第13回関東社会人大会優勝 ○じゃじゃママファイターズ 全日本エルダー大会出場 ○横須賀 第20回全日本小学生男子大会優勝 ○横須賀女子 第20回全日本小学生女子大会ベスト16 第23回関東小学生女子大会出場

平成19年 ○横須賀ブルービーズ 第10回全日本一般男子大会出場 ○メッツ 全日本エルダー大会出場 ○じゃじゃママファイターズ 全日本エルダー大会出場 ○横須賀 第17回関東小学生

選抜男子大会優勝 第21回全日本小学生男子大会ベスト8 ○横須賀女子 第17回関東小学生選抜女子大会準優勝 第21回全日本小学生女子大会出場

平成20年 ○メッツ 全日本エルダー大会出場 ○じゃじゃママファイターズ 全日本エルダー大会出場 ○横須賀学院男子 関東大会出場 ○横須賀 第1回春季全日本小学生男子大会優勝 第18回関東小学生選抜男子大会優勝 第22回全日本小学生男子大会優勝 ○横須賀女子 第1回春季全日本小学生女子大会ベスト8 第22回全日本小学生女子大会ベスト16

平成21年 ○横須賀ブルービーズ 第20回関東クラブ普及大会準優勝 ○湘南なでしこ 第8回全日本エルデスト大会ベスト8 ○横須賀 第19回関東小学生選抜男子大会優勝 第23回全日本小学生男子大会3位 ○横須賀女子 第2回春季全日本小学生女子大会出場 第19回関東選抜女子大会3位 第23回全日本小学生女子大会ベスト16

平成22年 ○湘南なでしこ 第9回全日本エルデスト大会ベスト8 ○横須賀 第3回春季全日本小学生男子大会優勝 第20回関東小学生選抜男子大会優勝 ○横須賀女子 第27回関東小学生女子大会出場 ○常葉中学校 第38回関東中学校女子ソフトボール大会3位

平成23年 ○じゃじゃママファイターズ 全日本マスターズ大会出場 ○湘南なでしこ 第10回全日本エルデスト大会ベスト8 ○横須賀 第21回関東小学生選抜男子大会優勝 第6回びわこオープン全国ジュニアソフトボール大会優勝 ○横須賀女子 第21回関東小学生選抜女子大会優勝 第25回全日本小学生女子大会ベスト16 ○常葉中学校 第21回関東中学生選抜ソフトボール大会3位

○協会創立60周年記念事業実施（12月10日）



平成 24 年 ○ヤングース 第 9 回全日本一般男子大会出場 ○湘南なでしこ 第 11 回全日本エルデスト大会優勝 ○横須賀 第 5 回春季全日本小学生男子大会優勝 第 22 回関東小学生選抜男子大会優勝 第 26 回全日本小学生男子大会優勝 第 7 回びわこオープン全国ジュニアソフトボール大会優勝 ○横須賀女子 第 5 回春季全日本小学生女子大会出場 第 22 回関東小学生選抜女子大会優勝

平成 25 年 ○湘南なでしこ 第 12 回全日本エルデスト大会優勝 ○横須賀 第 6 回春季全日本小学生男子大会 3 位 第 23 回関東小学生選抜男子大会優勝

平成 26 年 ○佐野幸夫日本ソフトボール協会終身審判員表彰 ○森田君枝日本ソフトボール協会終身記録員表彰 ○ヤングース 第 11 回全日本一般男子大会ベスト 8 ○横須賀ブービーズ 第 20 回関東社会人大会 3 位 ○横須賀壮年 第 14 回日本スポーツマスターズ大会出場 ○湘南なでしこ 第 13 回全日本エルデスト大会優勝 ○湘南学院高等学校 第 64 回関東高等学校女子大会 3 位 全国高等学校総合体育大会 5 位 ○横須賀女子 第 7 回春季全日本小学生女子大会出場 第 28 回全日本小学生女子大会出場 ○横須賀学院 第 42 回関東中学生男子ソフトボール大会 3 位

平成 27 年 ○ヤングース 第 12 回全日本一般男子大会出場 ○湘南学院高等学校 第 45 回東日本高等学校女子大会出場 第 65 回関東高等学校女子大会出場（第一代表） ○横須賀 第 8 回春季全日本小学生男子大会優勝 第 29 回全日本小学生男子大会優勝 第 10 回びわこオープン全国ジュニアソフトボール大会優勝 ○横須賀女子 第 8 回春季全日本小学生女子大会出場 第 25 回関東選抜小学生女子大会優勝 第 29 回全日本小学生女子大会 3 位 ○野比中学校 第 15 回全日本中学生女子大会出場 ○横須賀学院男子 第 34 回関東中学校大会 3 位 第 37 回全国中学校男子大会出場

現在の課題と将来ビジョン

これまで記したように、近年、各世代の横須賀代表チームの活躍は目を見張るものがあり、特に

小学生の男子「横須賀」、女子「横須賀女子」、中学生男子女子、高校女子「湘南学院」、女性 50 歳以上の「湘南なでしこ」は全国大会の常連チームとして、数々の優勝を飾り国内にその名をとどろかせ、ソフトボールの横須賀を大いに広めてくれている。また、一般男子も毎年全国大会等にチームを送り出すようになり高いレベルに達している。このように、全国レベルでは多くの強豪チームを輩出している横須賀であるが、市内の各種大会に参加するチーム数の減少が加速していること、試合の運営である審判団の高齢化と減少が大きな課題となっている。

この背景には、競技主体であった世代の高齢化と少子化が影響を与えていることは間違いがない。しかし、ソフトボールは誰でも、何歳までもできる生涯スポーツとして生まれた種目であり、横須賀市が目指している、できるだけ健康寿命を延ばそうという方針に適応したスポーツであるので、今後は県、関東、全国を目指すチーム作りと、いつまでも楽しめる生涯レクリエーションとしての側面を拡大していきたいと考えている。そのため、本協会としては次のように取り組むと考えている。

上のレベルを目指すチーム作りのためには、日本のトップチームなどによる技術講習の導入、横須賀市内で大きな大会を自主運営できる組織づくり。また、試合運営の主体である審判団の増強のために登録チームに審判資格の取得と経験を積むため市民大会などでの審判機会の増加。生涯スポーツとしての拡大策は、各地のリーグ戦の支援、交流戦などの試合機会の増加、などにより現役世代の参加を促進するようにしたい。

競技人口が多く、生涯スポーツとしてのソフトボールをさらに発展させるため、協会員一同、研鑽と努力を続け、市民の健康づくりに貢献したいと願っている。

青木哲正記



(平成 27 年新年会)